

# 平成24年度 学校評価 自己評価書

あま市立甚目寺南中学校

## 1 本年度の重点努力目標

- ア 「よさ」に着目し、明るく、節度ある学校・学級づくり
- イ たくましく生き、心豊かな生徒の育成
- ウ 豊かな発想と創意に満ちた授業実践と研修活動
- エ 生徒の心を和ませる教育環境づくり
- オ 家庭や地域及び関係機関の教育力を生かした活動の推進
- カ 小学校と中学校が連携した教育活動の推進

## 2 自己評価の実施体制

- (1) 調査時期 平成25年1月8日～15日
  - (2) 調査項目 別紙アンケート参照
  - (3) 調査対象 有効回答者数／対象者数
    - ・生徒 576名／全600名
    - ・学校評議員 5名／5名
    - ・保護者 480名／600名
    - ・教職員 35名／35名 計1096名
- ※保護者は、家庭数ではなく全校生徒数600名を対象に依頼

## 3 調査結果

- (1) 平成23年度と比較して全体を通して大きな変化はみられないが、職員・保護者と生徒との数値のギャップがある項目や職員と保護者・生徒とのギャップのある項目がある。意識のズレが生じている。
- (2) 生徒の回収率が95.6%まで伸びたが、保護者の回収率が平成23年度より少し下がった。昨年度の反省を生かし、職員の生徒への回収に対する意識が高くなった。
- (4) 生徒・保護者から多くの貴重な自由記述が寄せられた。具体的改善に役立つ貴重なヒントが多くあり、謙虚に受け止め対応していきたい。

## 5 成果と課題

- (1) 学校経営
  - 師弟同行について職員・生徒・保護者ともに認めていただくことができた。より一層高めていきたい。
- (2) 学習・部活動
  - 授業技術を高めていくことが急務である。家庭学習の習慣化が職員と生徒・保護者の数値のギャップが大きく、授業と課題のあり方を見直す必要がある。
- (3) 生徒指導
  - 生徒は自分たちのことを理解してもらえていないと感じている割合が高いと同時に、悩みや相談をきちんと聞いてくれないという数値も目立つ。生徒目線に立った指導が必要である。
- (4) 人権教育
  - 道徳や集会などを通じて働きかけを通して効果を上げている。道徳を積極的に行うことにより、さらに高めていく必要がある。
- (5) 環境
  - 環境整備については生きた掲示物によって気持ちの安定を図り、「もっけい清掃」の徹底が必要である。清掃に集中させるためのシステムづくりが明確になった。
- (6) 連絡
  - ホームページにより、情報を発信しているが、新しくなったホームページのアドレスの広報活動が不十分であったために、見られないという声もあった。あらゆる機会を通して伝えることが必要である。

## 6 改善策

- (ア) 「よさ」に着目し、明るく、節度ある学校・学級づくり
  - ①全職員による講話 全職員が朝礼時に話をする。
  - ②道徳・人権ファイルの作成 生徒のプリントには朱書きを入れて振り返りができるようにする。
  - ③Q-Uテストの実施 分析結果をしっかりと活かすようにする。

(イ) すべての生徒が「分かった」「できた」と実感できる魅力ある授業づくり

【向上ポイント】

話し合い活動の充実 全員授業参加 わかる授業 やる気向上 基礎学力向上

- ①教室配置 学習活動の中に班活動での話し合いをとり入れる授業展開をする。そのための座席配置を工夫する。
- ②授業形態 少人数指導での授業を少しでも拡大する。
- ③授業展開 個に応じた課題を与える
- ④毎時間確認テストの実施と学力コンクール 継続の課題の中から学力コンクールを行い、宿題の取り組みの結果をみる。
- ⑤外部講師の活用 授業力を身に着けるために外部講師を招いて指導を受ける。

(ウ) たくましく生き、心豊かな生徒の育成

【向上ポイント】

時を守る 場を清める 礼を正す 自浄作用 奉仕の心

- ①心のノート・ソーシャルスキルの活用
- ②遅刻の対応・・・遅刻した生徒の個別指導をしっかりと行う。家庭の協力を得る。
- ③学級委員会の設置・・・委員会として設置する。
- ④モラル向上集会・・・キャンペーンの連絡だけにとどまらない。よりわかりやすく、伝わるような内容にする。
- ⑤礼儀の徹底・・・生活委員会による啓発 職員室前に掲示 部活動での指導 日常における言葉づかいの指導
- ⑥ボランティア隊の編成  
.....「できることをできるときにできる人で」を合言葉に活動する。

(エ) 心を和ませる教育環境づくり

【向上ポイント】

時を守る 場を清める 礼を正す

- ①正確な清掃の音楽・・・定時に黙想ができるようにする。
- ②清掃の啓発活動・・・もっけい新聞の継続 よい取り組みを載せる。
- ③マニュアルづくり・・・清掃区域ごとのマニュアルづくりを行う。  
職員が清掃の仕方を学ぶ(ダスキン出前講座)
- ④便教会との連携・・・年3回程度の実施・・・生徒ボランティアも

(オ) 共に育つ地域・校種間連携の推進

【向上ポイント】

地域・保護者からの信頼度

- ①HPの毎日更新・・・最新の情報(行事・生徒指導通信など)を行う。
- ②学校公開日の工夫・・・ミニ講演会を職員が行い、その後授業参観に行く。  
授業の工夫(生徒発表、活躍する場)
- ③おやじの会との連携・・・美化活動を職員・生徒とともに連携して行う
- ④面接官の発掘・・・進路指導などにおいて面接指導を小学校から、地域から、評議員から選出する。
- ⑤進路部会の設置・・・進路部会を時間割に位置づけ、検討する。
- ⑥学年通信・・・家庭へのお願いコーナー
- ⑦積極的な家庭訪問・・・意識的に家庭訪問する。  
(欠席したときなど、よいことをしたとき)